

おすすめ書籍

現代語訳 論語と算盤

2021年から始まる大河ドラマ「青天を衝け(つけ)」で注目されている渋沢栄一が書いた書籍の現代語に訳したものです。当たり前のことが大半なのかもしれませんが、改めて考える原点が書かれています。現代語訳といえど少し読みづらくも感じました。アマゾンで探すと漫画版もあるのでそちらがいいかもしれません。



■著者について

渋沢 栄一(しぶさわ・えいいち)

1840(天保11)~1931(昭和6)年。実業家。約480社もの企業の創立・発展に貢献。また経済団体を組織し、商業学校を創設するなど実業界の社会的向上に努めた。他の著書に『論語講義』などがある。

■内容(「BOOK」データベースより)

日本実業界の父が、生涯を通じて貫いた経営哲学とはなにか。「利潤と道徳を調和させる」という、経済人がなすべき道を示した『論語と算盤』は、すべての日本人が帰るべき原点である。明治期に

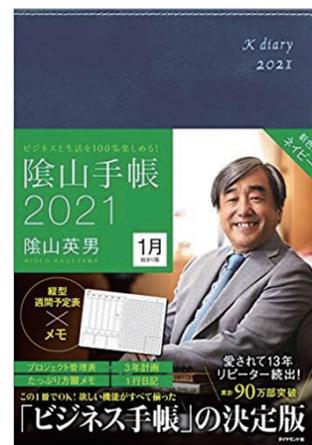
資本主義の本質を見抜き、約四百七十社もの会社設立を成功させた彼の言葉は、指針の失われた現代にこそ響く。経営、労働、人材育成の核心をつく経営哲学は色あせず、未来を生きる知恵に満ちている。

おすすめ手帳

5年ほど前に7つの習慣手帳を購入し計画の記入と振り返るツールとして手帳が便利だと思い使っています。今年は下記にしましたが、いままで使用したものとしては「小宮一慶のビジネスマン手帳」「陰山手帳」などがあります。いずれも年間・月間・週間の振り返る欄があります！

左：小宮一慶のビジネスマン手帳 2021

右：陰山手帳 2021



ご相談などはこちらから

様々なご相談・お見積もりなどは下記をご記入のうえお送りください。またセミナーの要望もどうぞ

FAX 0256-46-0797 メール sales@is1.co.jp

御社名

担当者名

電話番号

メールアドレス

FAX 番号

- 内容
- メルマガ登録
 - 相談
 - セミナーについて
 - お見積

もうちょい↑ 編集後記

昨年、たくさんの方にゴルフを誘っていただきなんと100を1回だけ切ることができました！

冬の間も忘れないようにユーチューブなどで学習しておきたいと思います。今年もよろしく願いいたします！

(木村)

